

第8回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

今まではけなす事が多かったのですが、頑張った事を褒めるように心掛けています。

子どもはダラダラと時を過ごすことが少なくなったので、怒ることが少なくなりました。まだまだ小さいと思っていたのですが、しっかりと成長しているんだなと思いました。

「頑張ればできる」と信じて子どもを信頼できるようになりました。

口を出すのを控えて、自分の自主性に任せるように心掛けている。

時間に追われる日々でなかなか見れない部分があったのですが、いつの間にか出来る事が増えたなぁ、しっかりしてきたなぁと気付く部分がありました。

子どもの自主性を大切にすること、すぐに指示をせず、意見を聞くように心掛けています。

基本的には今まで通りあまり変わりはありません。

なるべく自分から進んでするように声かけを少なくしました。

例えば、宿題をやらなければならない場面で「やりたくないなぁ」発言があった時は「100kmは歩けるのに宿題は出来ないの?」とこちらが言うと首をかじげ考えて「じゃ~するか」と言ってやっています。ひとつのパロメーターというか考える事の基準になっていると思われ、親子の会話に取り入れています。

すぐに口や手を出すのではなく、見守る、子どもに自分のやり方でさせてみるよう心掛けています。

子どもがやるうとしている事をできるだけ見守る、口を出さない、やらせてみる

親の方から しなさいという事を言わないように気をつけています。この子はいちいち口出し手出しをしなくても自分で考えて行動できるはず!!と信じて!!まだまだ子離れの途中です。

気がついて欲しいことはいっぱいあるのですが、なるべく先々言わないように気をつけるようにしています。ただ、(自分が困ったら分かるだろう)と思っても、本人自身が全然困ってくれないのでこちらが困っています。

子供よりも先に何でもやりがちだった様な気がして、今では親が動くよりも先に声かけだけして様子を見るようになりました。

「自分で出来る」「1人でやれる」ということは「お願いね」と任せてみることにしました。親がするよりも時間が掛かりますが、「終わったよ~」「できたよ~」と言って来るまでは待つことに。(待つことって忍の一字ですね。ついつい「大丈夫なん?」「ちゃんと終わるん?」と口出してうるさがられました。)「ありがとう。助かったわ。」のひと言も忘れないように心掛けています。

何事もやってみるとい事が分かってきたようなので少し様子を見てから声掛けをするようにしています。

挨拶をしっかり大きな声で交わすようになりました。優しい言葉を掛けてくれたり、心配をしてくれた時、成長しているなぁと実感しながら「ありがとう」と声かけをしています。

口を出す前に子どもの考えを聞いてから行動するようになった。

「全て」を言わず「任せる」ように心掛けています。

なかなか変わることができていません。自分のことを自分でできるよう、進んで挑戦できるよう支えたいと思います。

食べ物の好き嫌いの無い子ですが、帰ってきてからは何でも喜んで感謝して食べてくれるので嬉しく食事を作っています。

特にありません。

子どもが穏やかになったので、家族も優しくなりました。

あまり言い過ぎないよう、以前よりは少し見守れているかと。

今まではあれこれと子どものすることに口出しをしていたと思うので、余り言わないように気をつけ見守っていくよう心掛けています。

第8回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

自分からやってくれる期待を込めて、口を出さずに様子を見守ることができる場面が増えました。(勉強の取り掛かりや、家での分担の仕事など)

特になし

もともと兄弟仲が良いのですが、更に楽しく遊んでいます。100km徒歩を完歩した事で姉や兄も良く頑張ったと褒めてくれ、自信がついたみたいです。初めて完歩したことで兄弟だけの共通の話をして盛り上がっていました。親の私たちは歩いていないので話には入れないのですが、とても微笑ましく嬉しく思いました。

おの100kmで子どもがどんな風に変ってくれるのか、期待が大きかった分、大きな変化が無かったので私も以前と変わった接し方をすることがなかなか出来ていません。

ダラダラ生活に小言を言いたいのを我慢し、自主的に夏休み生活が送れるよう方向修正をしています。

いちいち口に出して「何々した?」と言うのは出来るだけ言わないようにしました。自分で考えて今しないといけない事ができるようになって欲しいです。

あまりお手伝いなどを頼まなかったのですが、子どもの方から「何かしようか?」と声を掛けてくれるので色々頼んでいます。助かっています。

する事や考えることがいい加減で、中途半端で、情けなく思い涙が出ることがあります。でも、「できる!」と信じ、怒るのではなく悟らすように伝えるように、ひと呼吸おいて接するよう、私も変わっていかねければと思います。

まだまだ幼いと思っていたのですが、100km完歩した自信の力とやる気を消さないように、何事もじぶんから、親からの手助けをしないよう息子を信じて見守っています。

今までも娘を1番に頼っていたのですが、今回の完歩後の顔を見てもますます頼もしくなっていてびっくりでした。何事も安心して任せています。

子どもにあれやこれやと指示する言葉がけをやめ、子どもに考えさせる言葉や決定させてやるようになりました。

自分で出来るのだから、任せてみようと思う気持ちが強くなりました。少し待ってみようと思心掛けています。

子離れ、親離れのきっかけとなった旅でした。お互いが離れても大丈夫と思いました。

今まではなにもかも手を差し伸べていたのですが、少し様子を見るようになった。

かなり待つことが出来るようになったと思います。まず、子どもに気付かせる事、そして子どもの力で何とかやる必要があると気付きました。

子どもが変わらないので、私も変わりませんでした。

自分で考えて任せて何事もやらせるようにしている。

100km頑張れたことを自信に、他のこともやればできるよ!と声掛けをしています。また100km完歩は自分の力だけではないよ!と周りのことへも目を向ける様に語る機会が増えました。

大きな変化はありませんが、物事を自分で進んでする事が自然に出来ている様子です。あれしなさい!これしなさい!という言葉が減りました。

いつも通りに接しているとうるさがられ、あまり色々なことに口出ししなくなりました。子どもを信じて見守ることが少し出来るようになりました。

100km歩ききった我が子はすごい!とにかくそう思うので、子どもへの見方が変わりました。子どもの意見も聞いたりすることが多くなった。(親の意見を押し付けないようになった。)

私が声を掛ける回数が減り、息子の行動を待つやれるようになりました。

今までは何でも私が先に手を出していましたが、まず、娘にさせるようになり変わりました。

自分で出来そうな事はしてもらう様に声かけをしています。

本当は頑張れる子なんだと信用出来るようになりました。文句を言っても、泣いても、反抗しても「本当は出来る子、やれば出来る子...」と気持ちを落ち着かせています。

第8回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

細かく言わなくても、この子は出来るからと自分が思うようになり注意が少なくなった。

今までは、子どもの行動の先をみてついつい口を出してしまっていたのですが、少し子どものする事を見守ってあげられるようになった。

「早くしなさい」と言う言葉が少し減った。

何か手伝いを頼み、子どもが渋った時に「おの100より楽でしょ!」と言うと「確かに」と手伝ってくれることが多くなりました。今年は暑かったので本当にしんどかったです。

肯定的に見るようになった。

特に無いが、こちらが気付いて注意しようとする時、少し待ってみようという気になった。

本人の自主性に任せる事が増えた。

あんまり関わってないけど「おの100で学んだ事は何だったのか?」とついつい言ってしまう。

子どもが行動を起こすまで少し待つように心掛けるようになった。

特にありませんが、今まで通りビシビシと....

何を考えて行動してるか、少し言葉に出さずに見る時間をとるよう心掛けている。

物事を1から10まで先々に言わずに自分で考えさせるように、話しかけるようになりました。

毎年、私の宿題として子どもの夏休みの宿題と一緒にしていました。でも、子どものためと思い、見守って自分の力でしてみました。当たり前のことなんですけど、ほっとけない自分が変わると子どもも当たり前のようになりました。

あまり変わっていませんが、本人に任せるということを益々増やすように心掛けています。

そろそろ礼節面について、本人に任せてみたいと思います。

子どもを叱ることが増えてしまいました。

リーダーとっておだてて色々な事を任せることにした。

見守ることを大切にしている。今年の夏は今まで1人でできなかった夏休みの宿題が出来ました。

今まで生活をする中で、常に心配ばかりでしたが、少しずつ1人で任せれるようになってます。何をすることも経験ですが、今後も子どもの可能性を信じて見守っていきたいです。

以前よりも本人の話をよく聞くようになったように思います。

「おの100」の話をした(班の事、リーダー・サブリーダーの事、副班長の事)頑張った事を認め、前よりも親子が仲良くなれたと思います。

昨年に続き、2度目の完歩。今回は副班長も任されたとのことで、「僕をもっと1人前扱いして」という気持ちを感じるようになったので、甘やかさないよう「自分でやってみよう」という姿勢で接するように努めています。

差ほど変わっていないけど、小言が減った。

特にありませんが、「少し本人に任せてみよう」「自分で判断させてみよう」と思うようになりました。出来た後の喜び方も「やりなさい」と言われてやった時よりも違っているようです。

少しずつ自立出来るように促す。

出来るだけ子どもを信じ、任せる。自分で考えて行動するような接し方を心掛けています。

大人でも根を吐きそうな5日間。完歩できた娘には何でも任せられると思い、安心していろいろと家のことを任せるようになりました。

第8回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

まずは本人に「どうしたいか」を考え行動させるような声掛けをしています。何でも「母さん、母さん」と言わさないような声掛けをしています。自立に向けて「自分で考え行動する」を考え接しています。

小さな4年生が遅れず完歩できたことに感動しました。根性がある子だと改めて気付かせてもらいました。

行動や発言に対して、あまり干渉せず、しばらく様子を見てみるようにしています。

相変わらず、何回呼んでも返事が返ってこなかったり、何をしたらよいのか分からなかったりで、私もイライラすることがありますが、私が見て無い所では頑張れる子と思い、信じられる(信頼)がアップしました。まだまだ親の前では甘えるんだな...と冷静に見ることができるようになりました。

本人の自主性に任せるようにしていますが、いつまで経っても動かない事も多く、喧嘩になることが多々あります。

お互いに少しゆとりを持って話が出来ようになったと思う。

特になし。